

小学校第6学年 社会科学習指導案

指導者 堀 直子

1 単元名 「江戸幕府と政治の安定」(東京書籍 第6学年)

2 ねらい・目的

- ・ 身分制と人々の暮らしについて調べ、武士を中心とした身分制度について理解することができる。
- ・ 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせて表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する。【情：思(3)】

3 展開

学習活動	○指導上の留意点 ☆評価	□情報活用能力 ◆ICT活用の意図
1 前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○ 以前の身分制度との違いをとらえさせる。 ○ さまざまな身分を指名している絵を提示し、その違いについて話し合わせる。	◆ 映像を見て、江戸時代の身分制度の様子をイメージする。
なぜ江戸幕府は、身分をはっきりと分けたのだろうか。		
2 江戸時代の身分制度について知る。	○ 武士が百姓などを支配していたことを捉えさせる。 ○ 「百姓への御触書」(資料集参照)を読ませ、感想を出させる。	◆ 映像を見て、江戸時代の農業の様子をイメージする。
3 幕府による百姓支配について調べる。 (1) 年貢や五人組の仕組みを知り、幕府の目的を話し合う。 (2) 道具や肥料の開発による農業生産性の向上について知る。	○ 幕府や藩が百姓にさまざまな負担を負わせていたことをとらえさせる。 ○ 「こきばしから千歯こきへ」の図から、百姓が農具を改良し、農業生産力を高めていったことをとらえさせる。 ○ 幕府の政策の意図について考え、武士を中心とする身分制が定着した様子をとらえさせる。	◆ 第6時のまとめに向けて、学習支援ソフト等に記事をまとめることができる。 □ 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせて表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する。【情：思(3)】
4 調べたことをもとにして、幕府の民衆支配について自分の考えをまとめる。	☆ 必要な情報を読み取り、江戸時代の身分制度と人々の暮らしについて理解しているか。	◆ ポイントの言葉を押さえながら、ノートやタブレット端末にまとめる。
江戸幕府と政治の安定のために、それぞれの身分に合わせた負担をさせた。		
5 本時の学習を振り返る。	○ 次時は、江戸幕府とキリスト教との関係について学習することを伝える。	

